



第1章 基礎編

1.7.13 波浪アンサンブル予報システム

波浪アンサンブル予報システム

運用中の波浪アンサンブル予報システムの概要

	波浪アンサンブル予報システム
モデルのタイプ	MRI-III (第3世代波浪モデル)
計算領域	極域を除く全球 75° S - 75° N 0° E - 180° - 0° W (全周)
格子間隔	緯経度0.5度
タイムステップ	移流項 10分 外力項 30分
スペクトル成分	900成分 (25周波数×36方位) 周波数成分：0.0375~0.3Hz；対数分割 方位成分：10度間隔
外力	GEPS (51メンバー) 3時間毎
予測時間 (初期時刻)	264時間 (00,12UTC)

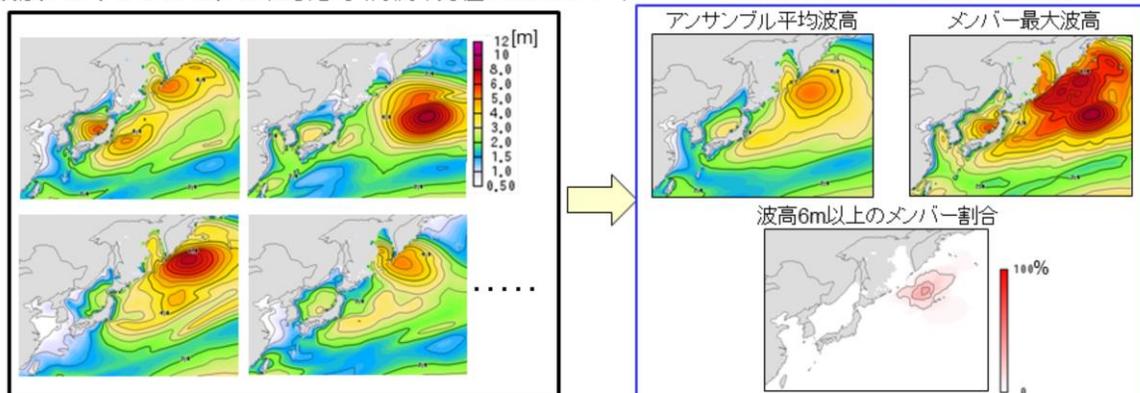
波浪アンサンブル予報システムは、モデル及び初期値は全球波浪モデル(格子間隔：緯経度0.25度)を粗い解像度に変換したもので、初期摂動は加えていない。大気外力として全球アンサンブル予報システムで予測された51メンバーの風を用いて、各メンバーに対応する予測計算を1日2回(初期時刻00, 12UTC)行っている。

波浪アンサンブル予報とは

- 複数の予測結果の統計処理により、予測の信頼度や不確実性を知ることができるほか、顕著な高波が発生する可能性を把握することができる。

波浪アンサンブルモデルによる予測例(現在: 51メンバー)

予測結果から得られる情報の例



多数の予測結果を平均することで(アンサンブル平均)、予測時間が長いところでは1つの予測結果よりも平均的な予測精度がよくなるだけでなく、予測の信頼度や不確実性、顕著な高波が発生する可能性などを把握することも可能になる。